

ゴロゴロになって、まっ黒になってヒビが入ったレンガ、中身が黒くこげた弁当箱、原爆の放射線、爆風、熱線を受けて大きなケガや病気をもって苦しむたくさんの人々の写真。原爆ドームや広島平和記念館の遺品、当時の写真は、衝撃的なものばかりでした。

たくさんの被害を出した原爆のエネルギーの約半分は爆風を起こすもので、広島のおよそ半分の建物を壊し、人々が飛ばされたそうです。約35パーセントが熱線で、まちを焼け野原にしました。約15パーセントが放射線で、病気にさせたりしました。今でも苦しんでいる人もいます。この原爆で約14万人が亡くなってしまいました。

世界で、原爆が投下されたのは日本だけです。たくさんの被害があったので、日本は、どこの国よりも平和を考えなくてはならない国だと思います。なので、たくさんの日本人が、悲しい戦争や原爆の被害があった事実を知ってほしいなと思いました。ぼくは、この事実を知って、つらかったです。

平和記念式典では、内閣総理大臣をはじめ、広島市長や広島市議長などが、戦争の悲しみや平和への思いを演説していました。

千羽鶴を付ける時に、力のある色あざやかな千羽鶴が付けられていて、ぼくはびっくりしました。そこには、たくさんの人たちの「平和がいつまでも続いてほしい。」ということが伝わってきたような気がしました。みんなが作った千羽鶴を、平和の思いを込めて付けました。

ぼくは、「原爆や戦争のおそろしさ」と「平和の大切さ」を広島県で学びました。二度と被害が出たり、人々が悲しむ戦争が起こらないように、日本はもっと平和を尊重してほしいなと思います。

安倍総理大臣には平和をもっと考えてほしいと思いました。